

高校と地域の連携強化戦略会議の取組について

1 協議の経過

	開催日	議 題
第 1 回	6 月 8 日 (水)	(1) 戦略会議の進め方について (2) 高校と地域の連携状況について
第 2 回	8 月 31 日 (水)	(1) アンケート集約結果について (2) アンケート結果を踏まえた連携の取組のアイデア協議
第 3 回	10 月 20 日 (木)	(1) アンケート結果を受けての各高校の検討状況について (2) 検討状況を受けての協議
第 4 回	12 月 22 日 (木)	(1) 来年度以降の取組の優先事項 について
第 5 回	3 月 23 日 (木)	(1) 中学 3 年生へのアンケートについて (2) 今年度の振り返りと来年度の取組みについて

2 第 4 回 高校と地域の連携戦略会議で出た具体化に向けた意見

①吉田高校の魅力化（サンフレッチェ広島との連携）

- ・吉田高校のユースの選手が、地域の子供たちにサッカーを教えるような機会があっても良いのではないかと
- ・サンフレッチェユースの選手がいる、ユースの選手と一緒に学校生活ができるという魅力を打ち出す
- ・スポンサーゲームの際、吉高生も早めに行って、試合の裏方の仕事をユース生と一緒に体験させてもらうことを企画していた
- ・観戦だけでなく、スタジアム周辺でのブースも含めて、いろんな繋がり方、イベントの打ち出し方はある

②向原高校の魅力化（外国人との交流、英語活用スキルの向上）

- ・外国の方との交流、文化に触れる体験活動が向原高校でできないか
- ・英語塾は、英語を活用していく力をつけるイメージ
- ・学校の授業で英語とは別に、希望者が放課後に集まって、英語活用のスキルを高めていくといったものがないだろうか
- ・英語塾というより、英語活用塾とか、英会話塾といったイメージの方が、実用的
- ・英語が学べるだけでなく、グローバル視点を学んで、外に出られる人材の育成につなげてもらいたい
- ・向原高校が、SDGs を積極的にやられているところは引き継いで、この地域の中の課題が世界とも結びついているし、自分も繋がっていると思えるような講座にできるかもと思った
- ・生徒募集の時に、正規の授業は別に、授業が終わった後に英会話、グローバルが学べる授業があって、こんな講師がいて、講座を 1 年間とったら、こんな力が身につくといったことを、うち出せたら良いと思う

③コーディネートする人材

- ・ 高校側のニーズを拾って、多様な企画、講座、イベントの企画をする
- ・ 高校生の地域での活動をする場所のセッティング
- ・ 地域から高校、高校生にやって欲しいことがある場合は整理し、高校が何か地域にできることを形にしていく
- ・ 外部の方と高校職員の間に入り、校内の思いをつなぐ
- ・ 高校職員では思いつかないアイデアを出して実現させる
- ・ 高校生と議論をして、高校生のニーズを拾っていく
- ・ 英会話というテーマを絞った中でのコーディネート役であれば、継続的にお願いしたいし非常に学校としてはありがたい

④小・中・高校連携

- ・ 臨時的任用や非常勤講師の候補者リストを共有できると人材確保につながるのではないかと
- ・ 部活動の連携の意義として、中学生からかっこいい先輩がモデルとなるようなイメージがつくような取組になってほしい

⑤公営塾

- ・ 公営塾があると高校職員の働き方に、学校現場としては大きく繋がる
- ・ 安芸高田市にいながら、大都市と同じ塾講師から学べれば、地域的なマイナスイメージを払拭できる
- ・ 生徒のどの層をターゲットにするかによって、参加人数が限定的になってしまう。公費ですすめるのであれば、しっかり議論をしておかないといけないと思う
- ・ 大手のオンラインコンテンツがあるところで、生徒も学校がセレクトし、受講したらと思う
- ・ 受講に対しては、市の補助が全額でなく、半額、4分の3と、受講者がお金を出す方が良い
- ・ オンラインだと好きなときに受けられるので、家でも受けられるので、効率的な利用になると思う
- ・ 何らかの形で高校生の進学を市がサポートしますよという PR をすることは、いいことだろうと思う

⑥補助金

- ・ 上下高校（府中市）では、入学生1人に5万円出すことが決まって、問い合わせが増えた、入学見込みも増えた
- ・ 生徒の奪い合いはすごく盛んになっていて、私立学校の方が安いという話が保護者に広まっている
- ・ 県立学校はパソコンを各自が買って入学しなくてはいけないので入学の際に10万円がかかる
- ・ 国からの補助金によって授業料が無償化され、私学はパソコンが全部用意してある
- ・ 特進クラスに入ったら、1万円出すという私立高校もある
- ・ 海外交流の費用補助で留学とか、修学旅行でも、行程のプログラムの中に生徒の能力養成を入れ込んで、費用を一部補助というような組み立て方もあると思う
- ・ 高校にトータルで補助して、高校生にアピールしていくといった考え方もできると思う

⑦下宿、移動手段

- ・下宿先を確保にめどが立ち、通常では向原高校には来ないような中学校にも説明に回ったが、その印象として、JR 芸備線が廃線になる不安の意識は強かった
- ・移動手段は基礎体力の部分で、基礎体力がないと生徒は集まらない
- ・芸備線の存続、公共交通体系の中でバスの増便が、どうしても必要なんだっていうことは、この委員会としてもきちっとお伝えしていきたい
- ・下宿では差別化、セグメントって特色化を打ち出すためにその下宿先で、こういう体験ができというメニューがつくれたらと思う
- ・テーマ性を設けた下宿先を確保することによって、そこにも興味を持たせるとともに学校活動と連携させていけたらと思う

⑧戦略会議の PR

- ・安芸高田市は高校の魅力化を応援していて、良い教育機会を地元の生徒に学ばせたいという思いがあることを、PR していかないといけない
- ・会議の様子を広報に載ってもらい、市長からの報告があったら流れもきれいだと思う
- ・高校それぞれに生徒が楽しそうに活動している動画を YouTube や、ツイッターなどの SNS を活用してアピールしていくことや、この会議の様子を、市役所の SNS を活用して表に出してもらえたらどうか